

# 防災

中学校 高校 大学

総合 学級活動

NHKスペシャル 50分

## 果てなき苦闘 巨大津波 医師たちの記録

(2011年放送)

### この番組の良さ



#### 災害時の医療現場

2万3千人を越える死者・行方不明者を出した東日本大震災。宮城県石巻市は、巨大津波で医療機関のほぼ全部が機能停止、唯一残った石巻赤十字病院が、地域20万人の命を守り、支え続けました。最前線の災害医療活動の貴重な記録です。

#### 医療従事者の活動と献身

津波による低体温症、ガソリンが肺に入って起きる「津波肺」という肺炎、避難所の食料不足や劣悪な衛生環境…病院は、日本の災害医療がかつて経験したことのない事態に直面しました。地震直後の病院内の映像とNHKの3か月間の取材から、災害弱者を支え続けた石巻赤十字病院の苦闘をたどります。

本番組を通じて、マニュアルにはない想定外の事態に、どう考え、何をしなければならぬかを話し合い、防災学習につなげていきましょう。

### 番組活用のポイント

#### 防災と災害医療の課題について

外科部長で、宮城県の災害医療コーディネーターも務める石井正医師。そして、今回の大震災を受けて救命救急チームのリーダーに抜擢された小林道生医師。想像を超える事態が連続する中、二人の医師は不眠不休で奮闘しながら、常に冷静沈着に緊急時のリーダーシップを発揮しました。

現在もなお、被災者は命を脅かされ、また心のケアを必要としています。そして、現場で苦闘を続ける医師たちが向き合う、地域の医療崩壊といった現状や災害医療の課題も、この番組を通して考えさせられます。被災者のかけがえのない命を守るために、政府や地域行政にはどんな形の支援が求められるのかを考えるきっかけとなります。

#### 防災意識を高める工夫(防災マニュアル)とその取り組み

番組中で石井医師は、「後世に伝えるには、何が正しくて何が良くなかったのかを分析し次の災害の備えをしていくことが必要だ」と語っています。この番組を通して、限られた状況で何ができるのかを考え、行動に移す姿勢を学べます。さまざまな困難に医師たちはどう立ち向かったのか、そしてその経験から何を学ばなければならないか、学び得るかを話し合ってほしいと思います。

災害発生から驚異的な速さで医療体制を整え、トリアージエリアの設置が完了しました。そのスピードを可能にしたのが、精緻に作成されたマニュアルでした。その重要性やマニュアル内容を学び、マニュアルにはない想定外の事態が発生した時、試練を知恵へと変える方法を石井医師の行動から探り考えてほしいと思います。番組の視聴を、防災を意識し、災害対策を考えるきっかけにすることができます。防災を支える社会基盤、命を守る新たな仕組みについて学びを発展させていきましょう。

学習展開例

対象校種：高校

授業時間 50分×2



東北学院中学校・  
高等学校  
教諭 氏家洋治

執筆

# マニュアルにはない事態が発生した時、あなたはどうする？

時間配分	学習活動	教師の支援
10分	①事前に災害時のマニュアルについて調べておく。 ・避難方法や避難場所の確認、災害に対する備えについて話し合う。	○現在住んでいる地域の災害時のマニュアルについて話し合う（マニュアルの重要性について意見を述べさせる。存在しない場合は、そのことの問題点について考えさせる）。
29分	②番組を視聴しながら気が付いたことをメモし考える。  <b>視聴</b> トリアージの準備：救急患者に治療の優先順位をつけ色分けする。 (開始～13分3秒)  医療以前に食料についての改善を訴える石井医師。 (13分3秒～28分48秒)	○番組で気が付いたことや自分の考えを可能な範囲でメモさせる。 ○視聴の中で注目させたいポイント ・マニュアルがあったからこそ迅速な準備ができたことを確認させる。 ・通常の15倍の患者や生活の場を失った被災者への対応。 ・低体温症、津波肺などのさまざまな症状の治療。 ・ローラー作戦（アセスメント）。 ・食料不足の問題や限られた医療資源の扱い方。 ・食料配給システム。 ・医療スタッフの多くが被災者であること。
11分	③番組を視聴して、気が付いたことを話し合う。	○番組を視聴し、考えたことなどを話し合わせる。
15分	①前時の学習を振り返る。	○前時の学習を振り返り、本時の学習につなげる。
21分	②番組を視聴しながら気が付いたことをメモし考える。  <b>視聴</b> 転院患者を見送る小林医師。 (28分48秒～37分54秒)  マニュアルのあり方について問う石井医師。 (37分54秒～49分37秒)	○番組で気が付いたことや自分の考えを可能な範囲でメモさせる（28分48秒～49分37秒まで視聴）。 ○視聴の中で注目させたいポイント ・感染症、肺炎、胃腸炎患者が次々に来院（通常の5倍）。 ・患者を被災地以外へ転院。 ・衛生問題（劣悪な衛生環境、感染爆発の恐れ）。 ・行政によるインフラ整備（追いつかない）。 ・国際赤十字からの給水システム（難民キャンプで使用されるもの）。 ・福祉の崩壊、災害弱者をどう助け支えるか。 ・地域医療の再建築という課題。
14分	③番組を視聴して気が付いたことを話し合う。 ・マニュアルの重要性について改めて考える。 ・マニュアルにはない事態が発生した時どうするかを話し合う。	○番組を視聴し、考えたことなどを話し合わせる。 ○自分ができること（防災）とは何かを考えさせる。 ○さまざまな自然災害にどのような対策をしているか、防災学習や避難訓練を通じた発展学習、防災意識を高める工夫・取り組み方に導く。

(※視聴についての注意：津波の映像が含まれています)